

令和6年2月27日
sakumo 佐久市子ども未来館

令和5年度 全国科学館連携協議会
北信越ブロック会議 実施報告

I. 日時

令和6年2月27日(火) 14:00~16:00

II. 会場

上田創造館 (長野県上田市上田原 1640 番地)

III. 参加館

北信越ブロック加盟館 9館 16名、連携協事務局2名 計18名

IV. 次第

- 幹事館(大町エネルギー博物館)から開会挨拶
- 開催地から挨拶
- 自己紹介
- 各館より運営状況の共有
- 意見交換など
- 連携協事務局からのお知らせ
- 令和6~7年度の幹事館について
- 施設見学:プラネタリウム上映
- 幹事館(sakumo 佐久市子ども未来館)から閉会挨拶

V. 意見交換など

(1) ブロック運営へのご意見や提案、連携協への要望など

・マブチモーターの提供は助かっているが、以前あった電池の提供についても復活を検討していただきたい。

・サイエンスショーフェスティバル

<上越科学館>

ひたちシビックセンターで開催されている「サイエンスショーフェスティバル」一泊二日で、全国から集まって、市民に披露するイベントを一日目に。二日目には研修を行ってとても良いイベント。4年前まで開催されていたが、連携協でできないか。材料費・講師謝礼などの補助、旅費は自前だった。

<事務局>

「科学の祭典」とかぶらないか？

<上越科学館>

ステージショーのみの実施で、ブースはなしだった。

<エンゼルランド>

研修として必ず毎日参加していたが、学びになって非常によい研修だった。

継続できないのは残念だ。

<上越科学館>

全国にああいった取り組みが広げられるといいと思う。

・発明クラブ、宇宙少年団など

活動を継続する上で、経費の面で苦心している施設も多い。ご支援いただけたら。

<松本市教育文化センター>

サイエンスヒルズこまつさんと、プラネタリウムの番組を回って企画したり、参加型の星空プログラミングで小学生から大人までが参加していて5分の番組をつくっている。小学生が素晴らしい作品をつくっている。人材交流をするのもいいし、作品をあちこちで流すなどもできるのではないかな。

<事務局>

「人材交流」のマッチングをして今年度は3件の助成を実施している。ぜひ利用して欲しい。先程の話題であがったようなブロック加盟館が共同でのサイエンスショーを、ブロック会議の際に行っているブロックもあるので、そういった取り組みも良いのではないかな。

(2) 能登地震の被害と被災地域への支援について

<事務局>

なにか支援できることはないかという問い合わせもいただいている。

<幹事館>

北信越ブロックの加盟館では、大きな被害はなかったと聞いている。(エンゼルランドふくいが1日休館。)

<富山県立カルデラ砂防博物館>

能登はかなり揺れた。館山駅で列車が動けなくなり100人くらいが待機する臨時避難所になったもした。

<上越科学館>

被災地の状況はひどく、今はこちらでなにかできる状況ではない。もう少し後で支援の検討がよいのではないかな。

(3) 令和6～7年度の北信越ブロック幹事館について

・福井県児童科学館（エンゼルランドふくい）が幹事館に。

ブロック会議の開催地

令和6年は福井原子力センター（原子力の科学館あっとほうむ）

令和7年は福井市自然史博物館分館（セーレンプラネット）

での開催を予定している。詳細は今後詰めていきたい。

VII. 連携協事務局からお知らせ

「人材交流」について話したかった。すでに意見交換の中で話せた。

VI. 施設見学 プラネタリウム上映

上田創造館の職員、塩沢崇氏の解説と久保博樹氏の生演奏で、冬の星空解説を中心とした3部構成での上映が行われた。五藤光学 GX-AT の紹介。星空と神話ではエウロペと牡牛座のストーリーが紹介された。「サウンドツアー」ではハーモニカとエレクトーンの生演奏と星空を合わせて楽しんだ。その場で参加者のアンケートで進行を決めるなど、ライブならではの臨場感や工夫が見られた。

以上



